

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（統計情報総合研究））
分担研究報告書

保健医療統計データに基づく総患者数推計の妥当性の検証
—社会医療診療行為別調査を用いた検討—

研究分担者 村上 義孝 東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野教授
研究代表者 橋本 修二 藤田医科大学医学部衛生学講座教授

研究要旨 社会医療診療行為別調査を用いた診療実日数の1999年から2010年の年次推移を検討し、患者調査における診療間隔の算定方法の妥当性を検討した。その結果、患者調査の1か月あたり診療実日数の推移と社会医療診療行為別調査の推移は同傾向であり、2006年以降は新しい平均診療間隔の推計法を用いた患者調査と、社会医療診療行為別調査の結果の値が近いことが確認された。

A. 研究目的

保健医療統計データに基づき、患者調査の総患者数推計の妥当性の検証を行うことを目的とし、本研究の1年目に各傷病の患者調査における総外来患者数（平成20～26年、現行と新しい推計方法）と国民生活基礎調査（平成19～25年）の通院者数の相違を比較検討した。

2年目の本年は当初の研究計画では、社会医療診療行為別調査に基づき、総患者数推計の妥当性を検討する予定であった。ただ社会医療診療行為別調査は1か月のレセプトを用いた統計であり、1か月を超える診療に関する情報は含まれない。そのため平均診療間隔は計算不能であり、総患者数を計算することはできないことがわかった。その一方で社会医療診療行為別調査の主要指標として1か月間の診療実日数があり、これは平均診療間隔とほぼ逆の関係にある。

以上のことを鑑み、本年度の研究目的を、社会医療診療行為別調査を用いた診療実日数の年次推移の検討、患者調査との比較検討に変更し、患者調査における診療間隔の算定方法の妥当性を検討することとした。

B. 研究方法

基礎資料として、社会医療診療行為別調査を統計法第33条による調査票情報の提供（厚生労働省発政統0723第1号、平成30年7月23日）を受けて利用した。使用した社会医療診療行為別調査の範囲は1999年から2010年とした。診療実日数の年次推移の検討方法として、傷病中分類別に診療実日数の平均を算出し経年的な推移を検討した。なお傷病中分類は数が多く、疾患によって報告数の数がさまざまである。少数の報告しかない疾患では1か月あたりの診療実日数の平均値は不安定な傾向にある。これらを考慮し報告数の少ない傷病分類は除外し、年間件数が2000件を超える傷病および胃がん、骨折を検討疾患とした。なお歯科疾患の一部（う蝕、根尖性歯周炎（歯根膜炎）等（WZ含）、補綴関係（歯の補綴））は1999-2005年と2006年以降の疾患コードが異なるが、それら2つを連結し推移を検討した。

全傷病および糖尿病と高血圧性疾患については、患者調査の総患者数の新しい推計方法に基づく診療実日数の年次推移との比較を実施した。

（倫理面への配慮）

本研究では、匿名化された統計データを用いるため、個人情報保護に関する問題は生じない。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて実施し、資料の利用や管理などその倫理指針の原則を遵守した。

C. 研究結果

図1に1999年から2010年の一か月あたり診療実日数の推移を傷病分類別に示す。一か月あたりの診療実日数の平均が5未満、3未満に限定した図も合わせて示した。診療実日数の平均が8日から10日で推移する腎不全を除くと、1999年から2010年までの推移は全疾患で減少傾向であった。この傾向については、1999年の診療実日数を1としたときの一か月あたり診療実日数の推移を傷病分類別に示した図2でも同様に確認された。

図3に1999年から2010年の患者調査と社会医療診療行為別調査の一か月あたり診療実日数の推移の比較を示す。患者調査から算出した一か月あたり診療実日数と、社会医療診療行為別調査との比較では、全傷病、糖尿病、高血圧疾患の3つを検討した。結果として、社会医療診療行為別調査の一か月あたり診療実日数の推移は患者調査と同様に減少傾向を示し、診療間隔の上限を91日とした新しい平均診療間隔の方の傾向に近づいていることが確認された。

表1に社会医療診療行為別調査の一か月あたり診療実日数の平均の推移を傷病中分類別に示した（各年の年間報告件数が2000以上を対象）。全傷病における1か月あたりの診療実日数の平均は1999年の2.20日から2010年の1.77日と減少傾向にあり、多くの疾患で同様の傾向を示した。表2に1999年社会医療診療行為別調査の一か月あたり診療実日数の平均値を1とした場合の平均の推移を示す（各年の年間報告件数が2000以上を対象）。1999年を基準としたときの2010年の比は全疾病で0.80と減少傾向であるが、統合失調症では0.98とほぼ横ばいの傾向を示した。疾患別の傾向を把握するために、表3に一か月あたり診療実日数の平均値の推移を単回帰の回帰係数（傾き）としてまとめたものを示す。腎不全以外の全対象疾患で負の傾きを示した。傾きの小さい疾患（-0.2から0）として腸管感染症、統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害、結膜炎、白内障、屈折及び調節の障害、皮膚炎及び湿疹が

あり、傾きの大きい疾患（-0.6より大）として高血圧性疾患、脳梗塞、関節症、脊椎障害（脊椎症を含む）、椎間板障害、腰痛症及び坐骨神経痛、骨の密度及び構造の障害、骨折があった。

D. 考察

本研究では患者調査の総患者数推計の妥当性、とりわけ総患者数推計で重要となる平均診療間隔に焦点をあて、その逆数にあたる1か月間の診療実日数に着目し、患者調査と社会医療診療行為別調査の一か月間の診療実日数の比較を実施した。その結果、図3に示すように患者調査の一か月あたり診療実日数の推移と社会医療診療行為別調査の推移は同傾向にあり、2006年以降は、新しい診療間隔の推計法を用いた患者調査と社会医療診療行為別調査の結果が近いことが示された。この年次推移のパターンと診療実日数の値の近さを見ると、患者調査と社会医療診療行為別調査は、共通した疾病量を測っていると思われる。

今回、社会医療診療行為別調査の一か月あたり診療実日数に焦点をあてたが、腎不全や投稿失調症など一部の疾患を除き、この20年間で診療実日数は減少傾向にあることがわかった。これは患者調査の各疾患で平均診療間隔が経年的に延びていると符合しており、このことから患者調査における総患者推計が妥当であることが示唆された。なお腎不全は定期的な透析が不可欠であること、統合失調症は定期的な通院が必要なことから診療実日数の減少につながらない傾向がある。一方で、他の多くの疾患では近年薬剤の処方間隔が伸びた影響で、この20年で外来診療間隔が増加する傾向にあり、新しい患者調査の平均診療間隔はそれを反映していると思われる。今回、社会医療診療行為別調査の診療実日数の推移を経年的に観察した結果、診療実日数の減少が確認された。これは間接的ではあるが平均診療間隔の増加を反映するものであり、患者調査における新しい平均診療間隔の妥当性を示唆するものといえる。

E. 結論

患者調査の総患者数推計の妥当性を検討するために、1 か月間の診療実日数に着目し、患者調査と社会医療診療行為別調査の1 か月間の診療実日数の比較を実施した。患者調査の1 か月あたり診療実日数の推移と社会医療診療行為別調査の推移は同傾向であり、2006 年以降は、新しい診療間隔の推計法を用いた患者調査と社会医療診療行為別調査の結果が近い値を示すことが確認された。

F. 研究発表

1. 論文発表

特になし

2. 学会発表

- 1) 村上義孝、川戸美由紀、山田広哉、橋本修二、三重野牧子、久保慎一郎、野田龍也、今村知明、谷原真一：患者調査の総患者数推計の検討 第2報 国民生活基礎調査の総傷病数との比較. 第77回日本公衆衛生学会総会(郡山市), 2018.

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

特になし

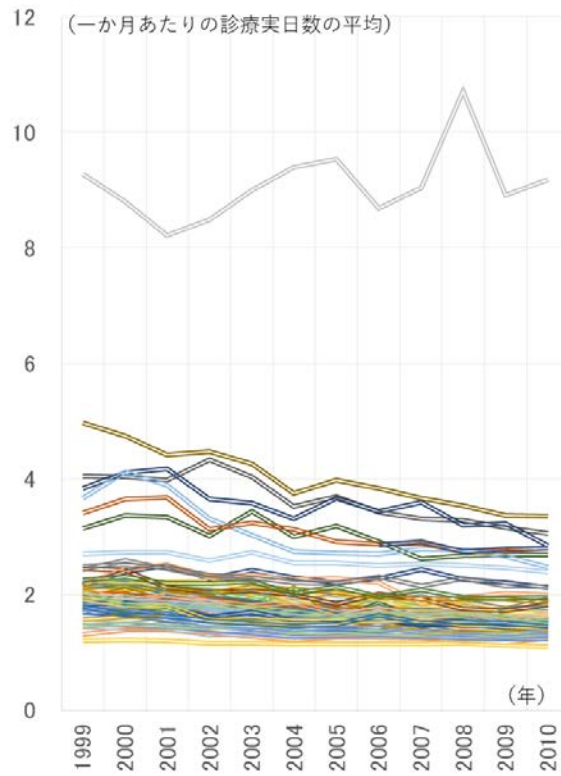
2. 実用新案登録

特になし

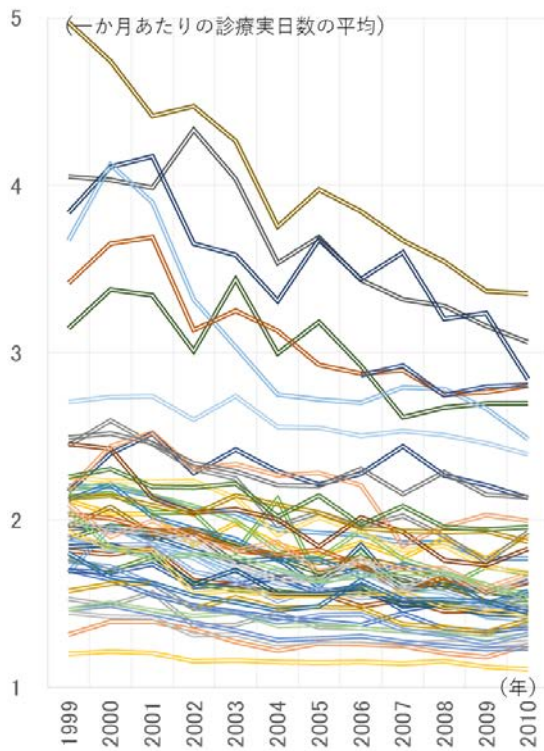
3. その他

特になし

図1. 傷病分類別にみた一か月あたり診療実日数の推移：1999年～2010年



(腎不全を除いた場合)



(腎不全、関節症、脊椎障害（脊椎症を含む）、
椎間板障害、腰痛症及び坐骨神経痛、骨の密度及
び構造の障害、骨折を除いた場合)

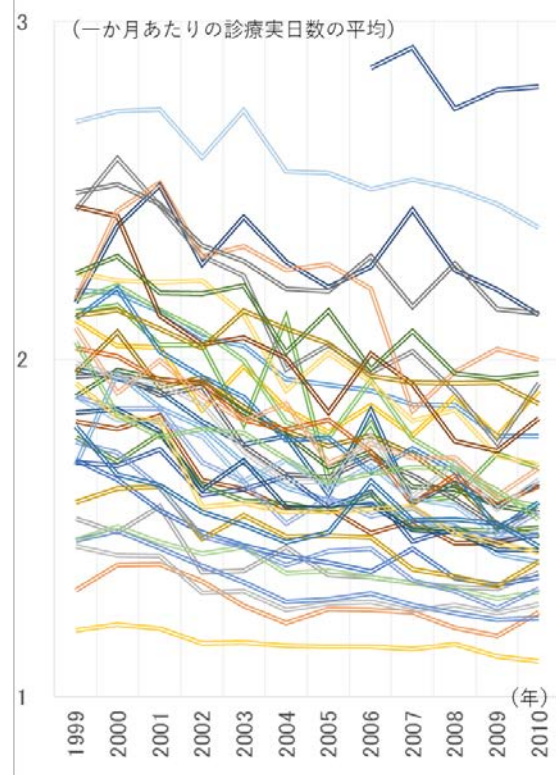


図 2. 傷病分類別にみた一か月あたり診療実日数の推移(1999 年を 1 とした場合) : 1999 年～2010 年

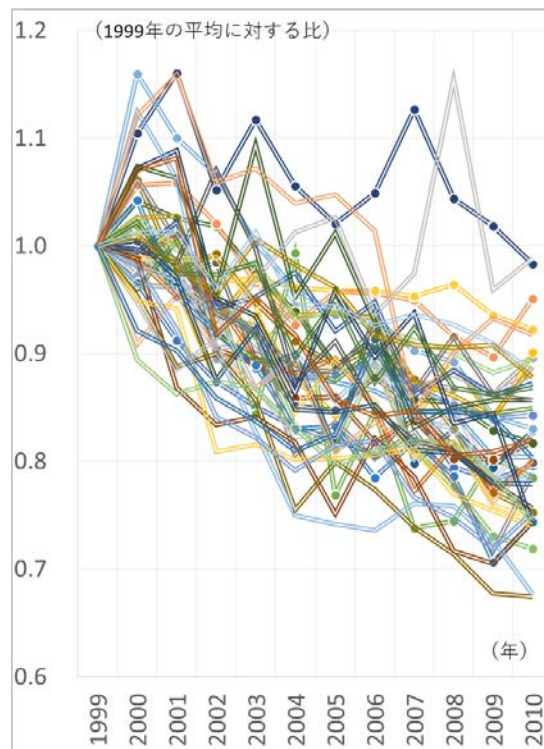


図3. 患者調査と社会医療診療行為別調査の一月あたり診療実日数の推移の比較：1999年～2010年

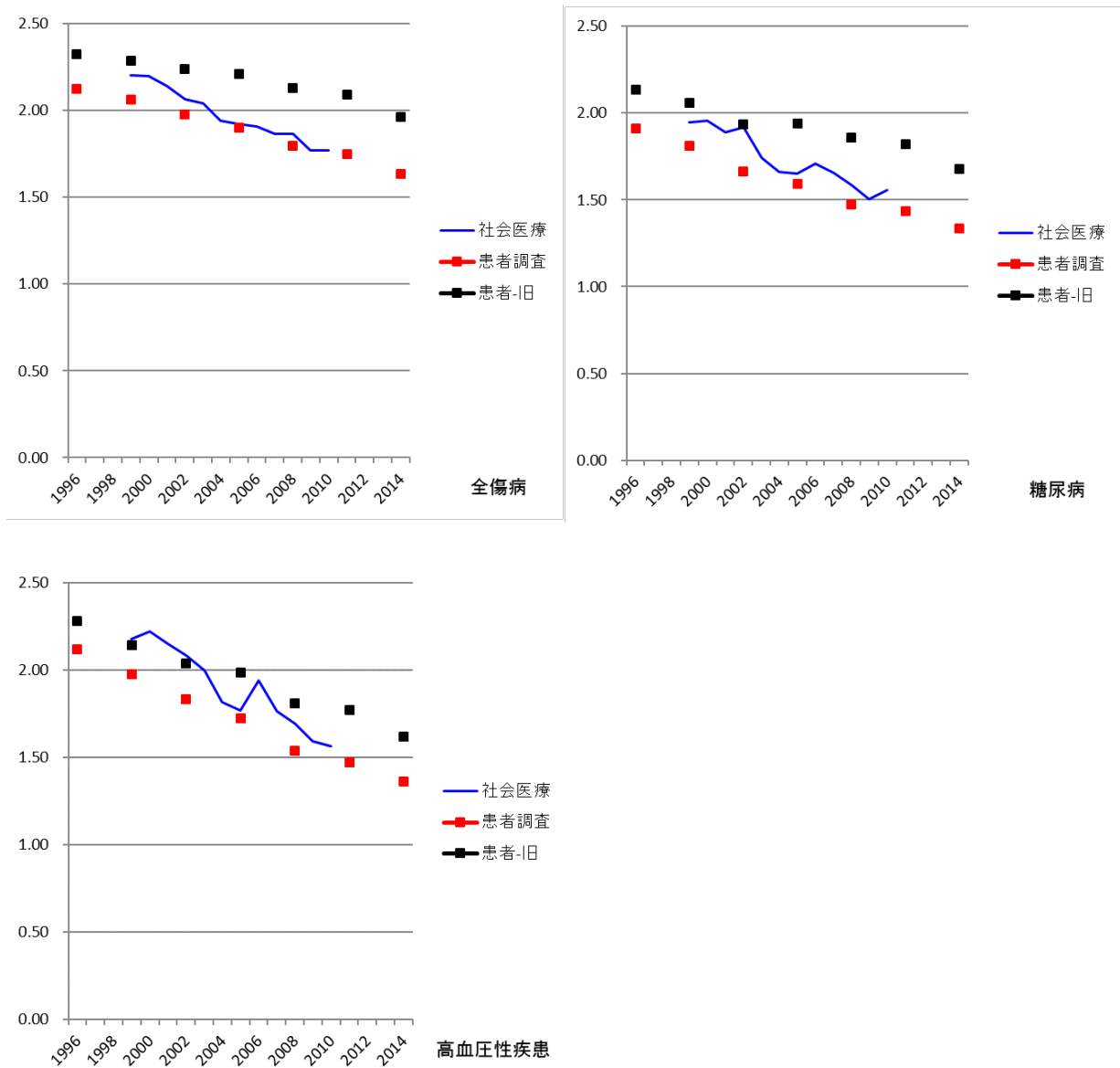


表 1. 社会医療診療行為別調査の一か月あたり診療実日数の平均の推移
(傷病中分類の中で各年の年間報告件数が 2000 以上の疾患)

傷病名	2010年件数	一か月あたりの診療実日数の平均											
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
全傷病	319,795	2.20	2.20	2.14	2.06	2.04	1.94	1.92	1.91	1.87	1.86	1.77	1.77
腸管感染症	2,509	1.53	1.49	1.56	1.37	1.37	1.44	1.36	1.35	1.34	1.33	1.32	1.37
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	3,203	2.12	2.04	2.04	1.85	1.98	1.85	1.78	1.86	1.77	1.89	1.77	1.91
真菌症	3,651	1.70	1.64	1.55	1.49	1.45	1.42	1.40	1.37	1.44	1.35	1.33	1.36
胃の悪性新生物	* 832	2.14	2.16	2.04	2.04	1.81	2.13	1.64	1.81	1.58	1.59	1.72	1.68
その他の悪性新生物	3,647	1.97	1.94	1.90	1.82	1.75	1.77	1.60	1.85	1.57	1.64	1.56	1.63
良性新生物及びその他の新生物	3,450	1.82	1.79	1.83	1.64	1.62	1.56	1.56	1.48	1.52	1.46	1.46	1.48
糖尿病	10,826	1.95	1.96	1.89	1.92	1.74	1.66	1.65	1.71	1.66	1.58	1.50	1.56
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	9,997	1.96	2.08	1.92	1.95	1.86	1.79	1.74	1.78	1.72	1.63	1.51	1.48
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	6,770	2.17	2.40	2.52	2.28	2.42	2.29	2.21	2.27	2.44	2.26	2.21	2.13
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	13,757	1.89	1.97	1.94	1.93	1.84	1.78	1.68	1.73	1.62	1.61	1.57	1.54
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	7,803	1.69	1.96	1.86	1.80	1.69	1.62	1.58	1.57	1.52	1.51	1.42	1.40
結膜炎	2,476	1.32	1.39	1.39	1.34	1.27	1.22	1.26	1.26	1.25	1.21	1.18	1.25
白内障	5,197	1.45	1.42	1.42	1.31	1.31	1.26	1.28	1.28	1.26	1.27	1.25	1.27
屈折及び調節の障害	6,151	1.20	1.21	1.20	1.16	1.16	1.15	1.15	1.15	1.14	1.16	1.12	1.10
その他の眼及び付属器の疾患	8,207	1.46	1.49	1.44	1.39	1.34	1.28	1.29	1.31	1.27	1.25	1.23	1.23
高血圧性疾患	35,785	2.18	2.22	2.15	2.08	2.00	1.81	1.77	1.94	1.76	1.69	1.59	1.57
虚血性心疾患	3,177	2.12	2.21	2.02	1.95	1.89	1.76	1.77	1.66	1.74	1.67	1.50	1.58
その他の心疾患	3,144	2.03	2.01	1.94	1.93	1.82	1.79	1.82	1.73	1.57	1.66	1.57	1.62
脳梗塞	5,500	2.44	2.60	2.46	2.31	2.25	1.97	2.04	1.96	2.02	1.90	1.75	1.93
急性咽喉炎及び急性扁桃炎	2,393	1.58	1.62	1.62	1.47	1.54	1.48	1.48	1.47	1.38	1.36	1.33	1.40
その他の急性上気道感染症	6,032	1.70	1.69	1.73	1.60	1.61	1.65	1.56	1.61	1.46	1.50	1.46	1.48
急性気管支炎及び急性細気管支炎	5,122	1.77	1.70	1.78	1.62	1.58	1.57	1.55	1.60	1.50	1.50	1.49	1.50
アレルギー性鼻炎	3,058	1.89	1.82	1.81	1.77	1.64	1.70	1.62	1.69	1.59	1.57	1.48	1.48
喘息	5,694	2.09	1.90	2.00	1.89	1.82	1.87	1.69	1.75	1.71	1.71	1.59	1.68
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	2,815	1.99	1.95	1.93	1.87	1.73	1.64	1.64	1.77	1.60	1.69	1.55	1.64
胃炎及び十二指腸炎	4,182	2.26	2.23	2.23	2.23	2.13	1.91	2.02	1.93	1.82	1.85	1.71	1.69
その他の消化器系の疾患	4,301	1.89	1.85	1.85	1.69	1.64	1.51	1.59	1.53	1.56	1.48	1.48	1.55
皮膚炎及び湿疹	14,160	1.46	1.50	1.46	1.42	1.44	1.37	1.37	1.35	1.34	1.32	1.29	1.31
その他の皮膚及び皮下組織の疾患	7,875	1.84	1.85	1.79	1.61	1.70	1.56	1.56	1.57	1.49	1.49	1.44	1.43
炎症性多発性関節障害	2,299	2.45	2.42	2.13	2.05	2.06	2.00	1.84	2.01	1.93	1.76	1.73	1.82
関節症	5,464	4.05	4.04	3.98	4.33	4.04	3.53	3.69	3.43	3.32	3.28	3.16	3.06
脊椎障害（脊椎症を含む）	6,298	4.97	4.74	4.42	4.47	4.26	3.75	3.98	3.85	3.67	3.55	3.37	3.35
椎間板障害	2,281	3.84	4.11	4.18	3.65	3.58	3.31	3.68	3.44	3.60	3.20	3.24	2.84
腰痛症及び坐骨神経痛	2,250	3.15	3.38	3.34	3.01	3.44	3.00	3.18	2.92	2.62	2.67	2.70	2.70
骨の密度及び構造の障害	2,580	3.67	4.13	3.90	3.32	3.04	2.75	2.72	2.70	2.79	2.78	2.67	2.48
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	2,964	2.18	2.44	2.52	2.31	2.33	2.26	2.28	2.21	1.85	1.96	2.03	2.00
腎不全	4,397	9.29	8.80	8.22	8.48	8.99	9.40	9.53	8.69	9.05	10.72	8.91	9.18
その他の腎尿路系の疾患	4,745	1.93	1.83	1.82	1.56	1.57	1.55	1.55	1.56	1.57	1.49	1.46	1.43
前立腺肥大（症）	7,057	1.76	1.72	1.62	1.48	1.44	1.39	1.43	1.44	1.34	1.31	1.26	1.32
乳房及びその他の女性生殖器疾患	3,543	2.05	1.83	1.77	1.79	1.78	1.71	1.63	1.66	1.68	1.68	1.61	1.53
症状、徴候等で他に分類されないもの	3,528	1.80	1.66	1.63	1.55	1.51	1.46	1.49	1.64	1.52	1.52	1.51	1.45
骨折	* 2,089	3.41	3.65	3.69	3.13	3.25	3.13	2.93	2.88	2.89	2.75	2.76	2.80
その他の損傷及びその他の外因の影響	5,000	2.49	2.52	2.46	2.34	2.29	2.21	2.20	2.30	2.16	2.28	2.15	2.14
う蝕	** 3,303	2.13	2.15	2.09	2.03	2.14	2.09	2.05	1.95	1.93	1.93	1.93	1.87
根尖性歯周炎（歯根膜炎）等（WZ含）	2,225								2.86	2.92	2.74	2.80	2.81
歯周炎等	** 9,478	2.26	2.30	2.20	2.19	2.22	2.02	2.14	1.97	2.08	1.96	1.94	1.96
補綴関係（歯の補綴）	** 3,822	2.70	2.74	2.74	2.60	2.74	2.56	2.55	2.50	2.53	2.51	2.46	2.39

*: 胃の悪性新生物と骨折は年間報告件数が 2000 件未満の年がある。

** : う蝕、根尖性歯周炎（歯根膜炎）等（WZ 含）、補綴関係（歯の補綴）では、1999 年から 2005 年と 2006 年以降の疾患コードが異なる。

表 2. 1999 年社会医療診療行為別調査の一月あたり診療実日数の平均値を 1 とした場合の平均の推移（傷病中分類の中で各年の年間報告件数が 2000 以上の疾患）

傷病名	2010年件数													帰係数
	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010		
全傷病	319,795	1.00	1.00	0.97	0.94	0.93	0.88	0.87	0.87	0.85	0.85	0.80	0.80	-0.04
腸管感染症	2,509	1.00	0.97	1.02	0.90	0.90	0.94	0.89	0.89	0.87	0.87	0.86	0.90	-0.02
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	3,203	1.00	0.96	0.96	0.87	0.94	0.88	0.84	0.88	0.84	0.89	0.84	0.90	-0.02
真菌症	3,651	1.00	0.97	0.91	0.87	0.85	0.83	0.82	0.81	0.85	0.79	0.78	0.80	-0.03
胃の悪性新生物	* 832	1.00	1.01	0.95	0.95	0.84	0.99	0.77	0.85	0.74	0.74	0.80	0.78	-0.05
その他の悪性新生物	3,647	1.00	0.99	0.97	0.92	0.89	0.90	0.81	0.94	0.80	0.83	0.79	0.83	-0.04
良性新生物及びその他の新生物	3,450	1.00	0.99	1.01	0.90	0.89	0.86	0.86	0.82	0.84	0.80	0.80	0.82	-0.04
糖尿病	10,826	1.00	1.00	0.97	0.98	0.89	0.85	0.85	0.88	0.85	0.81	0.77	0.80	-0.04
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	9,997	1.00	1.06	0.98	0.99	0.95	0.91	0.89	0.91	0.88	0.83	0.77	0.75	-0.05
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	6,770	1.00	1.10	1.16	1.05	1.12	1.06	1.02	1.05	1.13	1.04	1.02	0.98	-0.01
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	13,757	1.00	1.04	1.03	1.02	0.97	0.94	0.89	0.91	0.86	0.85	0.83	0.82	-0.04
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	7,803	1.00	1.16	1.10	1.07	1.00	0.96	0.94	0.93	0.90	0.89	0.84	0.83	-0.04
結膜炎	2,476	1.00	1.06	1.06	1.02	0.97	0.93	0.96	0.96	0.95	0.92	0.90	0.95	-0.02
白内障	5,197	1.00	0.98	0.98	0.90	0.91	0.87	0.88	0.89	0.87	0.88	0.86	0.88	-0.02
屈折及び調節の障害	6,151	1.00	1.01	1.00	0.97	0.97	0.96	0.96	0.96	0.95	0.96	0.94	0.92	-0.01
その他の眼及び付属器の疾患	8,207	1.00	1.02	0.99	0.95	0.92	0.88	0.88	0.89	0.87	0.85	0.84	0.84	-0.02
高血圧性疾患	35,785	1.00	1.02	0.99	0.96	0.92	0.83	0.81	0.89	0.81	0.78	0.73	0.72	-0.06
虚血性心疾患	3,177	1.00	1.04	0.95	0.92	0.89	0.83	0.83	0.78	0.82	0.79	0.71	0.74	-0.06
その他の心疾患	3,144	1.00	0.99	0.95	0.95	0.89	0.88	0.90	0.85	0.77	0.81	0.77	0.80	-0.04
脳梗塞	5,500	1.00	1.06	1.00	0.94	0.92	0.81	0.84	0.80	0.83	0.78	0.72	0.79	-0.07
急性咽頭炎及び急性扁桃炎	2,393	1.00	1.03	1.03	0.93	0.97	0.94	0.94	0.93	0.87	0.86	0.84	0.89	-0.02
その他の急性上気道感染症	6,032	1.00	0.99	1.02	0.94	0.95	0.98	0.92	0.95	0.86	0.88	0.86	0.87	-0.02
急性気管支炎及び急性細気管支炎	5,122	1.00	0.96	1.01	0.92	0.89	0.89	0.87	0.90	0.85	0.85	0.84	0.85	-0.03
アレルギー性鼻炎	3,058	1.00	0.96	0.96	0.94	0.87	0.90	0.86	0.89	0.84	0.83	0.78	0.78	-0.04
喘息	5,694	1.00	0.91	0.95	0.90	0.87	0.89	0.81	0.84	0.82	0.82	0.76	0.80	-0.04
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	2,815	1.00	0.98	0.97	0.94	0.87	0.82	0.82	0.89	0.80	0.85	0.78	0.83	-0.04
胃炎及び十二指腸炎	4,182	1.00	0.99	0.99	0.99	0.94	0.84	0.89	0.86	0.81	0.82	0.76	0.75	-0.06
その他の消化器系の疾患	4,301	1.00	0.98	0.98	0.90	0.87	0.80	0.84	0.81	0.83	0.78	0.78	0.82	-0.04
皮膚炎及び湿疹	14,160	1.00	1.03	1.00	0.97	0.99	0.93	0.94	0.92	0.91	0.90	0.88	0.90	-0.02
その他の皮膚及び皮下組織の疾患	7,875	1.00	1.01	0.97	0.88	0.92	0.85	0.85	0.85	0.81	0.81	0.78	0.78	-0.04
炎症性多発性関節障害	2,299	1.00	0.99	0.87	0.83	0.84	0.82	0.75	0.82	0.79	0.72	0.71	0.74	-0.06
関節症	5,464	1.00	1.00	0.98	1.07	1.00	0.87	0.91	0.85	0.82	0.81	0.78	0.76	-0.11
脊椎障害（脊椎症を含む）	6,298	1.00	0.95	0.89	0.90	0.86	0.75	0.80	0.77	0.74	0.71	0.68	0.67	-0.14
椎間板障害	2,281	1.00	1.07	1.09	0.95	0.93	0.86	0.96	0.90	0.94	0.84	0.84	0.74	-0.09
腰痛症及び坐骨神経痛	2,250	1.00	1.07	1.06	0.96	1.09	0.95	1.01	0.93	0.83	0.85	0.86	0.86	-0.07
骨の密度及び構造の障害	2,580	1.00	1.12	1.06	0.90	0.83	0.75	0.74	0.74	0.76	0.76	0.73	0.68	-0.13
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	2,964	1.00	1.12	1.16	1.06	1.07	1.04	1.05	1.01	0.85	0.90	0.93	0.92	-0.04
腎不全	4,397	1.00	0.95	0.88	0.91	0.97	1.01	1.03	0.94	0.97	1.15	0.96	0.99	0.07
その他の腎尿路系の疾患	4,745	1.00	0.95	0.94	0.81	0.82	0.80	0.80	0.81	0.81	0.77	0.75	0.74	-0.04
前立腺肥大（症）	7,057	1.00	0.98	0.92	0.84	0.82	0.79	0.81	0.82	0.77	0.75	0.72	0.75	-0.04
乳房及びその他の女性生殖器疾患	3,543	1.00	0.89	0.86	0.87	0.87	0.83	0.80	0.81	0.82	0.82	0.79	0.74	-0.03
症状、徴候等で他に分類されないもの	3,528	1.00	0.92	0.90	0.86	0.84	0.81	0.83	0.91	0.85	0.85	0.84	0.80	-0.02
骨折	* 2,089	1.00	1.07	1.08	0.92	0.95	0.92	0.86	0.84	0.85	0.81	0.81	0.82	-0.08
その他の損傷及びその他の外因の影響	5,000	1.00	1.01	0.99	0.94	0.92	0.89	0.88	0.92	0.86	0.92	0.86	0.86	-0.03
う蝕	** 3,303	1.00	1.01	0.98	0.95	1.01	0.98	0.96	0.92	0.91	0.91	0.91	0.88	-0.02
根尖性歯周炎（歯根膜炎）等（WZ含）	2,225	-	-	-	-	-	-	-	1.00	1.02	0.96	0.98	0.98	-0.02
歯周炎等	** 9,478	1.00	1.02	0.97	0.97	0.98	0.90	0.95	0.87	0.92	0.87	0.86	0.87	-0.03
補綴関係（歯の補綴）	** 3,822	1.00	1.01	1.01	0.96	1.01	0.95	0.94	0.93	0.94	0.93	0.91	0.88	-0.03

*: 胃の悪性新生物と骨折は年間報告件数が 2000 件未満の年がある。

** : う蝕、根尖性歯周炎（歯根膜炎）等（WZ 含）、補綴関係（歯の補綴）では、1999 年から 2005 年と 2006 年以降の疾患コードが異なる。

表 3. 一か月あたり診療実日数の平均値の推移（回帰係数）

全傷病の回帰係数は -0.042

カテゴリ	疾患名
0 以上（正）	腎不全
-0.2 から 0	腸管感染症、統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害、結膜炎、白内障、屈折及び調節の障害、皮膚炎及び湿疹
-0.4 から -0.2	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患、真菌症、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物、その他の眼及び付属器の疾患、急性咽頭炎及び急性扁桃炎、その他の急性上気道感染症、急性気管支炎及び急性細気管支炎、アレルギー性鼻炎、喘息、胃潰瘍及び十二指腸潰瘍、その他の消化器系の疾患、その他の腎尿路系の疾患、乳房及びその他の女性生殖器疾患、症状、徴候等で他に分類されないもの、その他の損傷及びその他の外因の影響、う蝕、根尖性歯周炎（歯根膜炎）等（WZ 含）、歯周炎等、補綴関係（歯の補綴）
-0.6 から -0.4	胃の悪性新生物、糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）、神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害、虚血性心疾患、その他の心疾患、胃炎及び十二指腸炎、その他の皮膚及び皮下組織の疾患、炎症性多発性関節障害、その他の筋骨格系及び結合組織の疾患、前立腺肥大
-0.6 より小	高血圧性疾患、脳梗塞、関節症、脊椎障害（脊椎症を含む）、椎間板障害、腰痛症及び坐骨神経痛、骨の密度及び構造の障害、骨折